

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	消防車に設置されている資器材の固定が不十分な状態での走行中の落下危険。
3. 体験した事例の中心的要素	火災現場でホース延長を実施中に、他隊の隊員が車両側面に設置されているシートベルト固定型ホース背負い器のロックを解除したが、それを使用せずにそのまま他の作業を実施した。鎮火後、機関員が目視点検のみを実施し、背負いのロックが解除された状態で帰署したものの、帰署途上に道路上等にホース背負い器が落下し、交通事故を誘発したり、歩行者等に接触し怪我を負わせる危険性があった。
4. 体験した事例の原因・理由	他の隊員が、機関員に対して背負いを使用する旨を伝えなかったこと。機関員は資器材が固定されているという先入観があり、目視点検において細部まで点検しなかったこと。

## 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

## 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 21 年 5 月 11 日 午後 5 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋内：4階建てビル1階飲食店内の調理場より出火
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる、交通事故、
7. 事例体験時の活動	火災帰署途中、 [ 耐火造建物、 ]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	ホース延長、その他：帰署途上
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ 27 ]歳、勤続年数[ 5 ]年、現場経験年数[ 5 ]年、階級[ 消防士長 ]、同様の活動 [ 過去に1,2回程 ]、任務 [ 機関員 ]
○当事者B	年齢[ 35 ]歳、勤続年数[ 15 ]年、現場経験年数[ 15 ]年、階級[ 消防士長 ]、同様の活動 [ 頻繁 ]、任務 [ 隊員 ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	ホース延長後、ポンプ操作を実施。	
経過2	当事者B	当事者Aのいる反対側の車両側面で活動	
経過3	当事者B	背負いを使用しようするためロックを解除	
経過4	当事者B	解除後、他の隊員に呼ばれ他活動を実施	
経過5	当事者A	鎮火後、目視点検を実施	
経過6	当事者A	点検後、帰署するため車両を運転	
経過7	当事者A	帰署後の点検において、背負いのロックが解除されていることに気づく	
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？  
ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

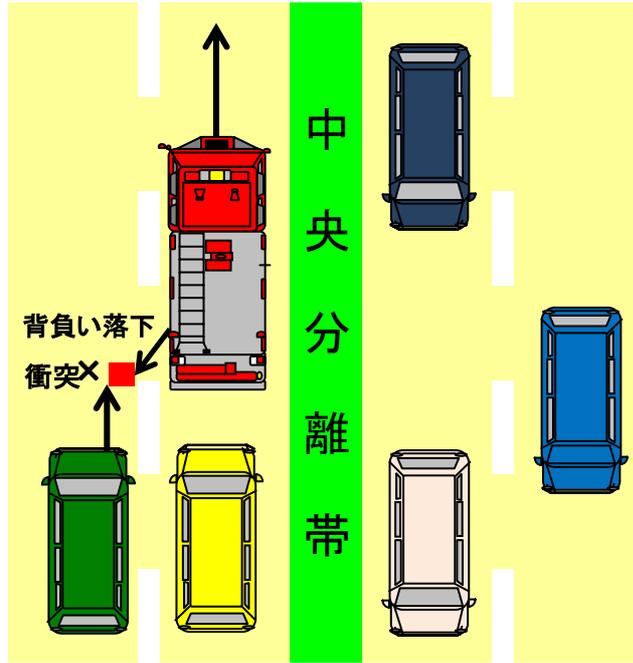
・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：疑心観をもって点検を実施しなかった。
-----------------------

# パターン1



# パターン2

